

社会資本総合整備計画書 (盛岡市)

平成29年3月17日

社会資本総合整備計画

平成29年3月17日

計画の名称	4 賑わいのある市街地の基盤づくり				重点計画の該当	
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)		交付対象	盛岡市		
計画の目標						

I にぎわいのある市街地の形成
 ・地域内への人口定着を図るため、公共施設の整備改善と良好な宅地を整備し、にぎわいのある健全な市街地の基盤づくりを行う。

計画の成果目標(定量的指標)

- ・区域内における、計画人口に対する定着人口率。
- ・区域内の、建築物戸数。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考								
	当初現況値	中間目標値	最終目標値									
	(H27当初)	(H29末)	(H31末)									
区域内人口 Σ区域内人口/Σ区域内計画人口×100(%)	68.93	69.57	70.00									
区域内建築物戸数 建築物戸数(戸)	5,135	5,348	5,368									
全体事業費	合計(A+B+C)	7,538	A	7,113	B	16	C	409	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	5.4%

交付対象事業

A 基幹事業(道路事業)																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	備考
											H27	H28	H29	H30	H31			
4-A-1	街路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	区画	改築	太田地区((都)下太田新田屋敷田線ほか)	区画整理77.2ha	盛岡市						3,974	-	H34完了
4-A-2	道路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	市町村道	改築	(他)下太田18号線ほか	現道拡幅L=0.9km	盛岡市						700	-	H36完了
4-A-3	街路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	区画	改築	道明地区((都)西仙北北川線ほか)	区画整理21.7ha	盛岡市						1,001	-	H35完了
4-A-4	道路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	市町村道	改築	(他)市道西仙北向中野2号線ほか	道路改築L=3.0km	盛岡市						1,235	-	H36完了
4-A-5	道路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	市町村道	改築	(他)市道焼野・石持線ほか	現道拡幅L=0.1km	盛岡市						87	-	H35完了
4-A-6	道路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	市町村道	改築	(他)市道碓堰線ほか	道路改築L=0.2km	盛岡市						116	-	H34完了
小計												7,113						

B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	備考
											H27	H28	H29	H30	H31			
4-B-1	下水道	一般	盛岡市	直接	盛岡市	汚水	新設	道明地区汚水施設整備事業	汚水管渠L=95km	盛岡市						16	-	
合計												16						

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
4-B-1	道路改築(4-A-4)と併せて沿道の生活環境向上対策として下水道(汚水)整備を一体的に行うことにより、快適な住環境の形成とともに沿道土地利用の促進が期待できる。	

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	H31		
4-C-1	施設整備	一般	盛岡市	直接	盛岡市	区画	改築	太田地区(建物補償・造成)	建物補償・造成整備面積10.7ha	盛岡市						343	
4-C-2	施設整備	一般	盛岡市	直接	盛岡市	区画	改築	道明地区(埋蔵文化財調査・建物補償・造成)	埋蔵文化財調査・建物補償・造成整備面積3.0ha	盛岡市						66	
合計												409					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
4-C-1	区画道路築造(4-A-1)と一体で建物補償及び宅地造成を行うことにより、良好な宅地を整備し健全な市街地を確保する。	
4-C-2	区画道路築造(4-A-3)と一体で建物補償及び宅地造成を行うことにより、良好な宅地を整備し健全な市街地を確保する。	

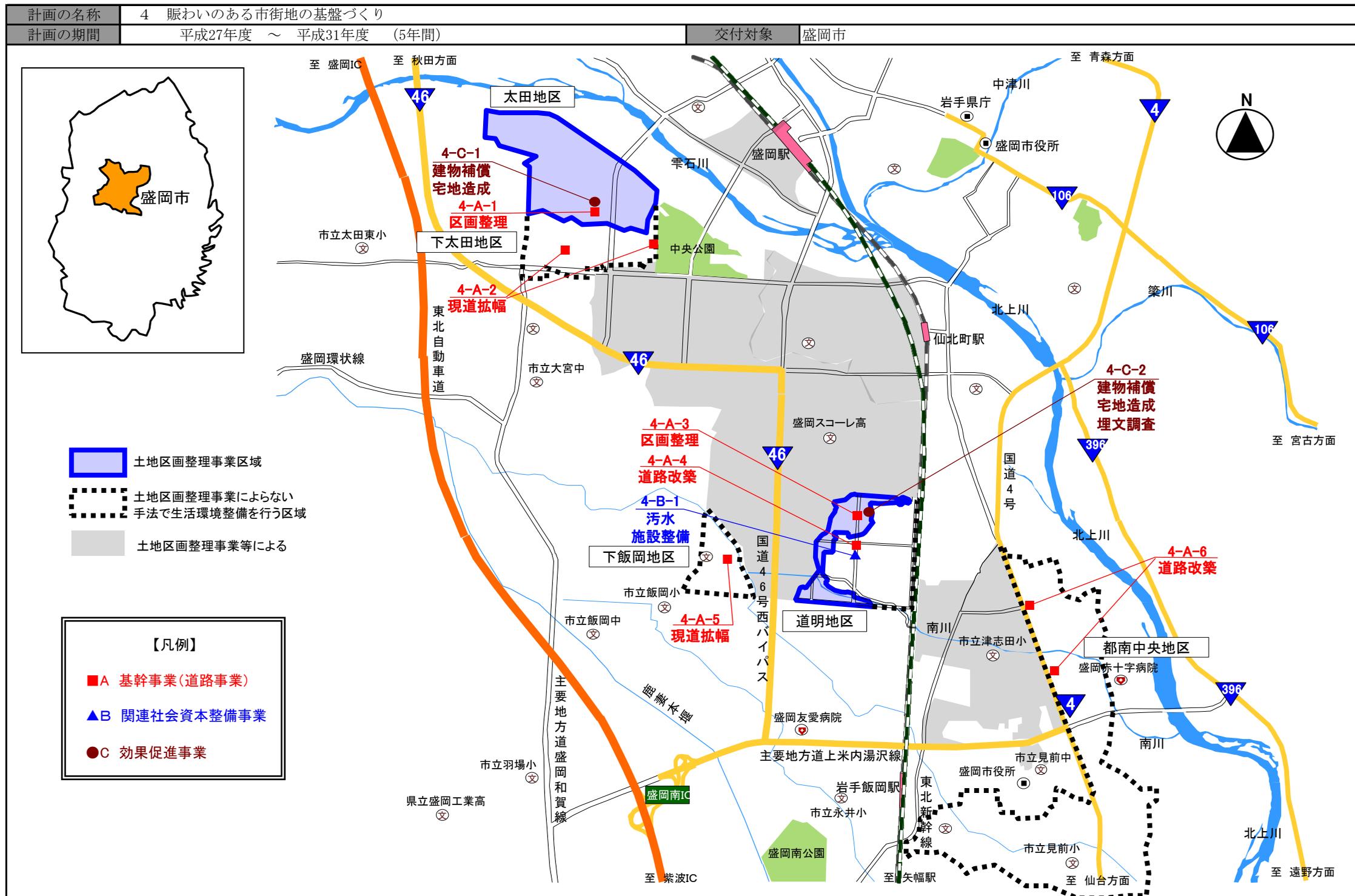
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
									合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果 交付金の執行状況											備考			

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	614				
計画別流用 増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	614				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	523				
翌年度繰越額 (f)	91				
うち未契約繰越額 (g)	43				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	7.1%				
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由					

※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。

(参考図面)



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:賑わいのある市街地の基盤づくり

市町村名:盛岡市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合	
1)計画の目標が市町村の総合計画[盛岡市総合計画]と適合している。	○
2)計画の目標が「盛岡市都市計画マスタープラン」と適合している。	○
II. 計画の効果・効率性	
②目標と事業内容の整合性	
1)目標と指標・数値目標の整合性がある	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性がある	○
3)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものになっている	○
③事業の効果	
1)目標に対して十分な効果を得られる事業で構成されている	○
2)ハードとソフトの連携が図られている	○
III. 計画の実現可能性	
④計画の具体性	
1)ハード整備の必要性が整理されている	○
2)ソフト施策の目的が明確である	○
⑤円滑な事業執行の環境	
1)計画の内容に関し、地元に対する事前説明が行われている	○